

会員会社紹介

一般社団法人 日本インダストリアルイメージング協会

代表理事 木浦 幸雄



一般社団法人 日本インダストリアルイメージング協会（JIIA^{*1}）は、2006年にマシンビジョン（以下MV）の業界標準を推進する協会として設立されました。現在、国内外の120社が加盟して活動を行っています。

JIIAには、「運営」、「標準化」、「国際規格推進」の3つの委員会が設置されています。

「運営委員会」は知財、統計、広報と他の業界団体との窓口的な役割を担っています。

業界標準化の主たる活動としてMV技術仕様の策定・規格化、規格化された仕様の業界への普及活動を司るのが「標準化委員会」です。

標準化活動を効果的に推進するために、A3^{*2}（北米）、EMVA^{*3}（欧州）、VDMA^{*4}（ドイツ）、CMVU^{*5}（中国）などの海外の業界団体ともアライアンスを締結し、年2回、各協会持ち回りで開催されている国際標準化会議IVSM^{*6}にも積極的に参画しています。

JIIAが主管となり標準化している規格として、CoaXPress（同軸ケーブルにてデジタル信号を伝送するカメラインターフェース（以下I/F））、SLVSEC（イメージセンサー－プロセッサ間I/F規格）、IIDC2（カメラの制御方式の規格）があり、レンズ、照明など産業用画像システムの光学系、その周辺技術の標準化も推進しています。

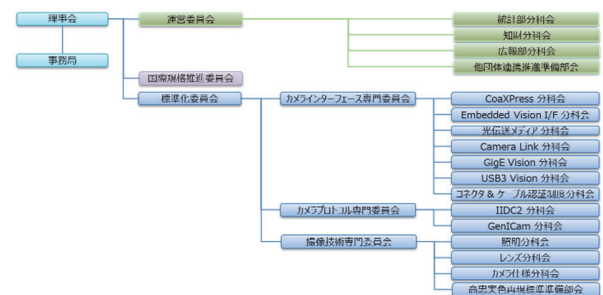
また、高速化するI/Fのニーズに対応するための標準伝送媒体の検討や、スマートファクトリーに必要な不可欠な高性能なコネクタ、ケーブルの認証制度作りなどで、市場での品質問題を防ぐ活動も推進しています。さらに、測色的に色を再現する高忠実色再現システムの規格策定などを通して、市場が求める忠実な色再現

への貢献を目指しています。

「国際規格推進委員会」は今年新たに設置した委員会で、今年4月よりTTC内マルチメディア応用専門委員会に新設された「MV SWG」への参画を目的として、TTCへ加盟し活動を始めました。

主に、ITU-T SG16でのMVに関する情報を分析、フォローしながら、TTCと協力して通信技術とMV技術を中心とした国際標準化活動の多様化に対応していきます。

JIIAにご興味をお持ちの方は、是非HP（<http://jiiia.org/>）を覗いてみて下さい。



JIIA 組織図

*1 JIIA: Japan Industrial Imaging Association
 *2 A3: Association for Advancing Automation
 *3 EMVA: European Machine Vision Association
 *4 VDMA: Verband Deutscher Maschinen- und Anlagenbau
 *5 CMVU: China Machine Vision Union
 *6 IVSM: International Vision Standards Meeting